

市場のあり方戦略本部（第1回）議事要旨

- 日時 平成29年4月3日（月）15時10分～15時40分
- 場所 東京都第一本庁舎7階中会議室

（議事要旨）

1 知事訓示

- ・市場の移転問題は、昨年11月に示したロードマップに沿って、専門家会議、市場問題プロジェクトチームでの検証など、一步一步ステップを着実に踏んできた。
- ・築地市場は、長年に渡るブランド力がある一方、老朽化に伴う課題を抱えている。また、豊洲市場は、食の安全・安心を確保しようと、都議会において無害化された安全な状態での開場を可能とするといった付帯決議が付された。
- ・都民との約束が十分に果たされていない現状であるため、豊洲市場は整理すべき課題をどうやってクリアするか、事業の継続性の問題はどうか、また築地市場についても、課題をしっかりと見据えたうえで、今後の市場のあり方を考えていくことが必要となる。
- ・それぞれの専門部署で行ってきた様々な検証の成果を、この戦略本部に集約し、そのうえで、残された諸課題を総点検して、私の総合的な判断につなげていくための戦略本部と位置付けたい。
- ・戦略本部が点検すべき事項は、「都民の理解と納得」、「豊洲・築地市場の課題」、「市場の将来的なあり方」の3点である。都自らが点検するとともに、市場の関係者などからヒアリングを行い、その成果を取り入れて、集中的に検討を進めて欲しい。
- ・ヒアリングにあたっては、市場関係者をはじめ、消費者、生産者、物流業界、経営者など、団体・個人を問わず、幅広い分野の方々から様々な意見をしっかりと聞いて欲しい。
- ・また、市場の現状だけでなく物流環境の変化などを見据えて、市場全体の将来のあり方、長期的な収支を含めた事業の継続性について、戦略的な視点を持って検討して欲しい。
- ・この戦略本部での検討結果、総点検を踏まえて私が総合的に判断する。その意味で大変重要な役割を担った本部となるので、よろしく願います。

2 議題（1）今後の進め方について

（事務局より）

- ・戦略本部で全ての事柄を集約するため、この半年間行ってきた専門家会議や市場問題プロジェクトチームの結果等も、総点検の対象となる。
- ・ヒアリングは、時間の制約上もあり、対象の団体を絞り込みたい。ヒアリングの形態としては、先方の御都合もあるが、可能な限り公開していきたい。
- ・事務局は中央卸売市場に設ける。政策企画局にはヒアリングのロジを含め、様々な形でバックアップを、総務局には、市場問題プロジェクトチームに関することで、財務局には、事業継続性や収支の分析、専門的な視点からの検討をお願いしたい。こうした体制で実質的な総点検に着手していきたい。

3 議題（2）ヒアリングについて

（事務局より）

- ・市場ユーザーという観点から、川上では、生産者や漁連、農協の方々などから意見を聞きたいと考えている。川下では、大手スーパーなどが対象になると考えている。加えて、寿司屋や料亭なども候補として考えられる。
- ・市場関係者については、これまでのように業界団体の代表者の方から話を伺うという方法もあるが、まずは、昨年9月以降開かれていない新市場建設協議会を開催し、少しイレギュラーな形ではあるが、その場に戦略本部長の中西副知事出席のもと、市場関係者の方から意見を伺う機会を設けていきたいと考えている。
- ・市場問題プロジェクトチームの小島顧問、専門家会議の平田座長からも忌憚のないご意見を伺いたい。
- ・専門分野として、会計、経営者、物流、リスクコミュニケーション分野から精査したうえで、適任者を絞り込んでいきたいと考えている。

【協議】

（小池都知事）

- ・市場関係者からは、個々に話を伺うことが妥当だと考える。重なる部分はあるが、新市場建設協議会とは別にヒアリングを実施して欲しい。

（中西本部長）

- ・市場関係者のヒアリングは、私が実施する方向で進めたい。

（村松中央卸売市場長）

- ・新市場建設協議会は、私が着任してから一度も開かれていない。今回、戦略本部が設置されたこともあり、中央卸売市場として開催したい。

4 閉会

（中西本部長挨拶）

- ・知事の指示に基づき、集中して実施していきたい。各部署で様々な役割があるが、私も頑張るので、使命感を持って取り組んで欲しい。

（小池知事挨拶）

- ・戦略本部の運営は、当然、中央卸売市場が中心となるが、関係各局が連携を取り、集中的に取り組んで欲しい。
- ・都民の理解と納得を得るためには、進め方と説明の仕方が重要となる。その意味ではプレゼンの工夫などもあわせて、心がける必要がある。ホームページなども活用しながら、きちんと説明をしていくことが結局信頼の確保ということにつながる。